

# コミュニティ協議会だより

平成29年度 第2号 永原校区コミュニティ協議会

発行担当者：事務局長 細谷 貴志

空は深く澄み渡り、さわやかな季節となりましたが、皆様におかれましては  
健やかに過ごしのことと存じます。

永原校区では、様々な行事がありたくさんの地域の方が参加しました。

## 第2回 永原スポーツの日

7月2日（日）、第2回永原スポーツの日はソフトバレー大会が開催  
されました。今回もたくさんの参加があり、夏の暑さの中、体を動かし  
気持ちのいい汗をかきました。



## 始良市校区対抗スポーツ大会 参加募集

今年も11月19日（日）に始良市校区対抗スポーツ大会が開催  
されます。永原からは9人制ミニバレー2チーム、ペタンク1チーム  
で出場予定です。それぞれ、参加ご希望の方は、事務局までご連絡  
ください。締め切りは、11月7日です。

永原校区コミュニティ事務局 電話番号 0995-73-5287

F A X 0995-73-5288

（月・火・木曜日 9～17時）



# 7/29 第3回 永原夏祭り

7月29日（土）、第3回永原夏祭りが開催されました。

P T A会長の開会宣言・パラシュート花火から始まり、ステージでは、フラダンスや日本舞踊、カラオケ大会がありました。

今年は、子どもたちが手作りの神輿を担ぎ会場を盛り上げました。途中、笹山義弘市長が来られ、ご挨拶をいただき、子ども達に花火も配っていただきました。

出店は、「300円グランプリ」としてアゴ肉の天ぷら・牛丼・ラーそめん・スイーツ・タピオカドリンク等いろいろなお店が並びました。お客様の投票の結果、グランプリに輝いたのは広島風お好み焼きのお店でした。、射的・ボールすくいもあり子どもたちも楽しんでいました。

ビンゴ大会では、大盛況の中、校区の方が大型テレビを当てていました。

最後は、花火が永原の夜空を彩りました。





## 8 / 27 永原小 愛校美化作業

永原小学校の愛校美化作業では、お忙しい中たくさんの校区の方々にご協力いただきました。生い茂った雑草の草刈り、木の剪定をしていただきました。また、永原若衆会の方に学校周辺のガードレールをきれいにさせていただきました。清々しい環境の中、新学期がスタート出来たことと思います。

## 9 / 24 第71回 永原小学校運動会 第9回 校区運動会

曇り空の中スタートした小学校秋季大運動会・校区運動会。子どもたちの応援合戦や短距離走から始まり、親子競技や校区の方が参加しての競技を楽しみました。昼前からぽつぽつと雨が降り出し、いくつかの競技が中止となってしまいましたが、コミュニティや保存会の方がご指導くださった「太鼓踊り」「おはら節・始良市民音頭」を体育館にて行いました。校区の方と楽しそうに踊り満足そうな子どもたちでした。





# コミュニティの活動が紹介されました

9月12日付の南日本新聞の「わがまちナビ」にて永原校区コミュニティ協議会の活動が紹介されました。

県  
央

わがまちナビ

始良市 永原小学校区



永原小学校は1878(明治11)年創立。1958(昭和33)年度に287人だった児童数は、次第に減少。2004年度、校区外から通う特認校制度を導入した。本年度は全児童37人のうち20人が特認生で、3・4年、5・6年が複式学級。特認生や遠方の児童はスクールバスで通う。校区には約400世帯、740人が暮らす(17年4月1日現在)。

学校近くでガードレールを清掃する若衆会メンバー



ふるさと学習で、一緒に勉強する児童。10月10日、永原小学校提供



## 学校維持へ一致団結

8月末の夏休み最後の日曜日、校庭で美化作業があった。保護者や教職員の児童と一緒で、コミュニティ協議会役員らが汗を流した。

協議会役員らが「(8)は、校区の高齢化率は、学校が無くなる地域は寂れる。住居は、一列に並んで雑草を取ったり、伸びた木の枝をのこのこ、切り取って、1時間ほどの作業、すつがきれいになった。協議会を中心に結成した若衆会だ。「集活へ」の入り口で、校区のイメージアップにつながる。夏休みの間に、校区のイメージアップにつながる。夏休みの間に、校区のイメージアップにつながる。

協議会役員らが「(8)は、校区の高齢化率は、学校が無くなる地域は寂れる。住居は、一列に並んで雑草を取ったり、伸びた木の枝をのこのこ、切り取って、1時間ほどの作業、すつがきれいになった。協議会を中心に結成した若衆会だ。「集活へ」の入り口で、校区のイメージアップにつながる。夏休みの間に、校区のイメージアップにつながる。

### 校区協議会 にぎわい、思い出演出

協議会主催で、永原小の恒例行事となっているのが、5年生以上が校区公民館に集まり、学区に通過する子ども達に、自主性や協働性、社会性を養おうと、2004年に始まった。

今年も、10月10日の5泊6日、児童は、食事の準備と片付け、掃除、学習に取り組み、公民館に居るが、児童は近くの住民を訪問し、もてなすのが、恒例となっている。5日間の夜には、協力してくる住民らと、協力する機会を設ける。

### うちの学校

鼓踊りを演じる。本番の24日に向け、8日、今年初めての練習があった。保存会の4人が学校を訪れ、振り付けや太鼓演奏を熱心に指導。これまでの運動会で披露している上級生や、8月にあった加治木地区の太鼓踊り大会に参加した児童が、練習をけん引した。

新門健一校長(58)は「踊りを学んだ子どもたちが、大人になって担い手として戻ってくることもある。学校を大切にしてくれる地域の思いに応えていきたい」と話した。



住民に教わりながら太鼓踊りを練習する児童  
—始良市の永原小学校

### 地域の伝統芸能継承

永原小学校校区は、豊かな自然が広がり、野菜栽培や稲作が盛んだ。学校では米やサツマイモ栽培など農業体験に力を入れているほか、全児童が「高岡みどりの少年団」として、環境保護活動に取り組んでいる。

地域の伝統芸能継承の一環も担う。これまで、運動会では辺川地区の「棒踊り」、西別府地区の「吉左右踊り・太鼓踊り」を交互に披露してきた。今年は、棒踊りの番だったが、指導者の高齢化により見送りとなり、昨年に続いて吉左右踊り・太

太鼓踊り保存会の方が、小学校の運動会の為に吉左右・太鼓踊りを教えている様子も取材され掲載しています。